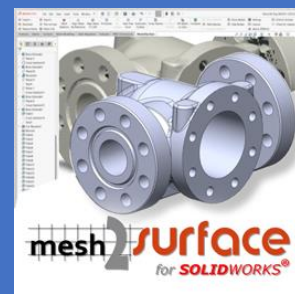




Mesh2Surface for Rhino



Mesh2Surface for SOLIDWORKS



RhinoResurf for Rhino



Geomagic DesignX

<p>対応データ形式</p>	<p>○ メッシュデータのみ対応可能</p>	<p>○ メッシュデータのみ対応可能</p>	<p>○ 点群・メッシュデータともに対応可能</p>	<p>☆ 点群・メッシュの 大容量データも対応可能</p>
<p>スキャンデータの編集</p>	<p>× 不可</p>	<p>× 不可</p>	<p>× 不可</p>	<p>☆ 点群・メッシュデータの 穴埋めや間引き、表面処理の編集が可能</p>
<p>手動モデリング</p>	<p>○ 偏差表示やメッシュの 分割機能を搭載</p>	<p>☆ 機械形状に優れており 履歴を持たせた編集も可能</p>	<p>△ メッシュ上に枠線を用意し その範囲内をサーフェス化する機能のみ</p>	<p>☆ 機械形状に優れており 履歴を持たせた編集も可能</p>
<p>自動サーフェス</p>	<p>○ Premium版に 自動サーフェス機能が付帯</p>	<p>○ 有機形状のリバースにて対応可能</p>	<p>△ 細かな編み目状のサーフェスが並ぶため データ量が大きいのものは注意が必要</p>	<p>☆ 精度が高く大容量データも対応可能</p>
<p>偏差解析</p>	<p>○ 偏差表示しながらデータ編集可能 ただしCADモデルとスキャンデータとの 位置合わせ機能は搭載していない</p>	<p>○ 偏差表示しながらデータ編集可能 CADモデルとスキャンデータとの 位置合わせ機能も搭載</p>	<p>△ メッシュから一枚面でサーフェスを 作成中のみ偏差表示が可能</p>	<p>○ 偏差表示しながらデータ編集可能 CADモデルとスキャンデータとの 位置合わせ機能も搭載</p>
<p>ライセンス仕様</p>	<p>クラウドライセンスのため 複数台のPCで運用可能 (同時起動は保有ライセンス数に準拠)</p>	<p>クラウドライセンスのため 複数台のPCで運用可能 (同時起動は保有ライセンス数に準拠)</p>	<p>スタンドアロンライセンスのみ</p>	<p>複数のPCで使用可能なネットワークライ センスやオフラインで使用できるドングル ライセンスなどライセンスの種類が豊富</p>
<p>選ぶ時のポイント</p>	<p>Rhinocerosユーザーでリバース業務を行 いたい方にオススメ。特に有機形状に強く、 自動領域分割など高価なリバースソフトに しかない機能も持ち合わせている。</p>	<p>SOLIDWORKSユーザーでリバース業務を行 いたい方にオススメ。特に機械形状に強く、 偏差を見ながらデータの編集が可能など、 SOLIDWORKS単体でリバース作業を行うよ りも大幅な時間短縮に繋がる。</p>	<p>Rhinocerosユーザーで、点群・メッシュ データを一枚面でサーフェス化したい方に オススメ。表面が複雑な凸凹形状でも綺麗 に面を張ることが可能。</p>	<p>3Dスキャナ等から取得した点群・メッシュ データの穴埋めや間引き等の編集が必要な 場合はDesignXがオススメ。 データの編集、リバースモデリング、CAD データの作成まで全ての作業が可能。</p>